



鹿児島県立錦江湾高等学校図書館だより

カラフル

2025. 11 No. 8



蔵書検索・予約はコチラ

ビブリオバトルを開催しました！

10月27日に校内ビブリオバトル大会を開催しました。

紹介された本は、まほら館に展示していますので、ぜひ借りに来てください。

紹介された本

👑チャンプ本

『星の王子さま』サン＝テグジュペリ 著 岩波書店



砂漠に不時着したパイロットは、そこで小さな王子と出会う。王子は小さな小惑星から旅をしてきたという。王子が語るのは、小さな星々で出会った“変わり者の大人たち”のこと。権力に酔う王様、賞賛だけを欲しがる男、数字しか見ていない実業家……。

地球で出会ったキツネから「心で見なくちゃ大切なものは見えない」と教わり、王子は自分にとって一番大切なものに気づく。

読むたびに、忘れていた大切な想いを呼び覚ましてくれる物語。

『コンビニのしくみ』笠井清志 著 同文館出版



どこにでもあって、いつでも開いていて、なんでも揃う。そんな「便利すぎる場所」コンビニの裏側には、緻密な物流やPOSシステム、人の工夫が詰まっている。

普段何気なく買っているおにぎりやコーヒーがどう棚に並ぶのかを知ると、コンビニの景色がちよっと変わる。

身近さの中にある巨大な仕組みを覗ける、知的好奇心をくすぐる一冊。

『なんて素敵にジャパネスク』氷室冴子 著 集英社



平安の都に暮らす瑠璃姫は、好奇心旺盛でお転婆な美少女。親の決めた結婚相手・高彬とは、顔を合わせればケンカばかり。従順な姫なんて性に合わない瑠璃姫は、宮中で起こる怪事件や噂話に首を突っ込み、騒動の渦へと飛び込んでいく。

怨霊騒ぎ、政治の駆け引き、身分制度のしがらみ……。

雅な都の裏には、恐ろしさと理不尽が息づいていた。それでも瑠璃は持ち前の奔放さで突き進み、自分の居場所と恋の形を見つけようとする。

恋と陰謀が渦巻く平安京で、瑠璃姫のまっすぐな想いが物語を動かしてゆく。古文の勉強にもおすすめの一冊！

『クドリヤフカの順番』米澤穂信 著 角川書店



『氷菓』で有名な古典部シリーズ3作目。

神山高校の年間最大イベントである文化祭が始まった。だが手違いから、出品する文集を大量に刷りすぎてしまう。文化祭を満喫しつつ宣伝役をこなす里志、大量発注の責任と漫画研究会の板挟みで消耗する摩耶花、そして静かに店番を続ける奉太郎は在庫の山に頭を抱えながら文化祭を進めていく。

校内では「十文字」と名乗る人物による連続盗難事件が発生し、各部から物品が盗まれていた。古典部は、この事件の最後の標的が古典部だと宣伝することで注目を集め、『氷菓』を売り切ろうとする。

「クドリヤフカ」とは1953年、ソ連の宇宙船に乗せられ、地球に帰還することができなかった犬の名前。

※ 『なんて素敵にジャパネスク』は近日入る予定です。それ以外の本はまほら館にあります。

ビブリオバトルの感想 たくさんの感想の中から一部を紹介します。

発表の仕方にそれぞれ個性が出ていて、とても分かりやすい発表だった。紹介している本を直接読んでいないのに、本の内容がどんどん入ってきてとてもすごいと思った。

全員の紹介のクオリティが高く、どれも興味を誘うような紹介をしていてすごいと思った。人に本をすすめるということは難しく、人に面白そうと思わせることはさらに難しいので、大人数を前にして本の面白いところをしっかりとまとめ上げた上で、嘸まずに、実体験や本を読む経緯を交えて紹介するのがとても面白くていいと思った。

どういうところが具体的に良かったのか、読んでどう思ったのかをその当時の自分の心情を言葉で上手に表現しているところがすごいと思いました。こういった機会でも人におすすめされた本や興味を持った本を一度手に取ってみて、私も自分の好きな本に出会えたらいいなと思います。

導入の仕方がとてもうまかったです。特に歌の導入がとても良かったです。感情の乗せ方など、聞き手を飽きさせないのがよかった。イレギュラーな質問でもちゃんと応答ができていたのが感心しました。みなさん本当に緊張の中、よくすらすら話せたと思いました。

本を読むことは好きですが、最近本を読む機会が減っていました。ですが、今回のビブリオバトルを通じて面白そうな本をたくさん見つけることができました。これからたくさん本に親しんで「読書の秋」に励みたいと思います。

4冊とも初めて聞く本ばかりだったが、どれも読みたくなるような魅力があり、紹介の仕方もいいと思った。この短時間で、いかに聞き手にインパクトを与えるか、その手段に個性が出ていていいと思った。

自分がよく読む本は著者や分野で偏ってしまっているのですが、こうした機会でも自分ではあまり読まない系統の本を知ることができたり、楽しむことができた。発表者それぞれに工夫があって、ストーリーや伝えたいことがとても伝わってきた。これを機会にまた本を読みたい。

全員が堂々と発表していてすごいと感じた。プレゼン中の言葉の強弱やアクセントの入れ方など、自分たちの研究発表にも取り入れることができると思った。最近あまり読書をしていなかったのをこれを機に積極的に本を読んでいこうと思った。

人に紹介されただけで、普通に見かけるよりも興味を持てるものだと知ることができた。どの本も読んだことがなかったので、機会があれば読んでみようと思った。そしていろんな人のオスズメの本を知って、本を読む機会につながれたらいいと思う。

どのパトラーさんもみんなとても演説が上手でした。全校生徒の前で頑張っていて尊敬しました。一番前で聞いていて、聞き入ってしまうようなスピーチで、ぜひまほら館に足を運んで本を借りてみたいなと思いました。ビブリオバトルを通して、本への興味が出てきました。「読書の秋」を満喫していきたいと思いました。

初めてビブリオバトルを見ました。パトラーさんたちの「私はこの本が好きです!!」という熱意、思いが伝わってきました。4冊とも面白そうな内容で興味を持ちました。来年のビブリオバトルも楽しみです。自分も好きな本を見つけられたらいいです。

本の紹介が上手だった。どの本も面白そうで読んでみたくなった。皆積極的に質問や回答を繰り返していて、本が好きなことが伝わった。普段小説をあまり読む機会がないから、今回のビブリオバトルで紹介された本を読んでみようと思う。

新刊紹介

まほら館にあたらしく入った本の中からおすすめの本を紹介します！

	タイトル／著者／出版社	あらすじ	請求記号
	マスカレード・ライフ／東野圭吾／集英社	ホテル・コルテシア東京で開かれる文学賞選考会。最終候補者のなかに、ある死体遺棄事件の重要参考人が…？ 警視庁を辞め、コルテシア東京の保安課長となった新田浩介が始動する！ マスカレードシリーズ最新作。	913/ヒ
	ファンタジックアジア／パイインターナショナル	遠い憧れの存在ではなく、どこか身近で懐かしい、ファンタジックなアジアの風景。絶佳なる聖地・アンベール城(インド)、ノスタルジックな三峡老街(台湾)など、幻想的なアジアの風景写真約120点を収録した写真集。	292/ハ